

令和5年度 釜石商工高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～教職員の健康確保と働きがいのある職場づくりを目指して～

釜石商工では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状	2 目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度実績で、月の時間外勤務時間80時間以上のある教職員が全体の15%である。(前年比3ポイント減) ・ 宿泊を伴う大会遠征、休日出勤による残業や部活動指導で時間外勤務が集中している。 ・ 特定の教職員に業務が集中する傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員一人一人が、健康で意欲的に業務に取り組んでいる。 ・ 管理職が日頃から、教職員に対し休暇を取得しやすい環境づくりを行っている。 ・ 教職員が、いきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 取組内容		
○ 教職員の健康管理	○ 学校における業務改善の推進	○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外在校等時間抑制の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。 ・ 勤務時間外の対応の在り方について検討・改善します。 ・ 管理職が長時間勤務者へ積極的に指導・声掛けをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の負担軽減に向け、顧問間で交代して休養する取組と時間外の活動を抑えるよう推進します。 ・ 管理職による分掌主任との面談を実施し業務の効率化や軽減に向けて、積極的に助言します。 ・ ペーパーレス化を実施することにより、業務の効率化を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動業務の適正化を図るよう、部活動方針の徹底と大会の精選を進めます。 ・ PTA・学校評議員を中心に働き方改革の取組について理解していただくよう働きかけます。 ・ 学級担任3人制の導入による業務の平準化と生徒一人ひとりと向き合う時間を確保します。

4 目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 月80時間以上の時間外在校等時間の勤務を行う教職員→0人 ・ 月45時間超の時間外在校等時間勤務する教職員→令和4年度比で3割減 ・ 月に1回以上、年次休暇を取得する教職員→100%

令和5年5月19日 岩手県立釜石商工学校長 今野 晋

<p>(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)</p> <p>【策定趣旨】</p> <p>○ 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。</p> <p>【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度</p> <p>【プランの目標】</p> <p>目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減</p> <p>(1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。</p>	<p>(2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="font-size: small;">時間外 在校等時間</th> <th colspan="2" style="font-size: small;">取組期間</th> </tr> <tr> <th style="font-size: small;">令和4(2022)年度</th> <th style="font-size: small;">令和5(2023)年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">月45時間超</td> <td style="font-weight: bold;">令和2年度実績の 8割減</td> <td style="font-weight: bold;">ゼロ</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">年360時間超</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上</p> <p>令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。</p>	時間外 在校等時間	取組期間		令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	月45時間超	令和2年度実績の 8割減	ゼロ	年360時間超		
時間外 在校等時間	取組期間											
	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度										
月45時間超	令和2年度実績の 8割減	ゼロ										
年360時間超												